

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和4年度事業点検・評価調書

3-8

3-8

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	文化財等保存修理
節			事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	8 重要文化財の修理・整備		関連団体	県文化課
事業実施期間	H28～R6			
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国重要文化財「旧佐渡鉱山採鉱施設」の保存活用計画や調査研究に基づく国重要文化財の修理や整備事業を推進し、構成資産の適切な保全を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化庁や専門家の指導のもと、長期的な視点に立った修理・整備計画を策定し、構成資産等の価値を保護するための適切な修理や整備を行う。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重要文化財の保存活用計画に沿って、修理・整備を継続して実施する。(定数的な目標値は設定しない。) 			
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国重要文化財の保存活用計画を策定し、重要文化財の修理や整備事業を計画的に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ● 大立竪坑櫓、大立竪坑捲揚機室、高任粗砕場など 			
事業計画と実績	<p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 重要文化財である大立竪坑櫓の法面対策工事及び解体材保存小屋の設置を行う。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大立竪坑櫓の背面にある岩盤法面の安全対策に向けた工事内容の検討、今後の修理によって発生する解体材の保存小屋設置工事を実施した。 			
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 最新の研究成果や他自治体の事例、専門家による指導内容を考慮しながら、修理・整備計画を更新する必要がある。 ■ 重要文化財の劣化・破損が進んでおり、修理期間が長期化したり、必要経費が増加する傾向が強い。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大立竪坑背面にある岩盤法面の安全対策工事を実施する。 			
事業評価	<p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 本事業は、保存管理を継続していくものであり、累積的な目標は設定していないが、概ね計画どおりに進んでおり、一定の成果が得られていることからB評価とした。</p> <p>[A ・ (B) ・ C]</p>			

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。